

里山再生事業に関するアンケート調査結果

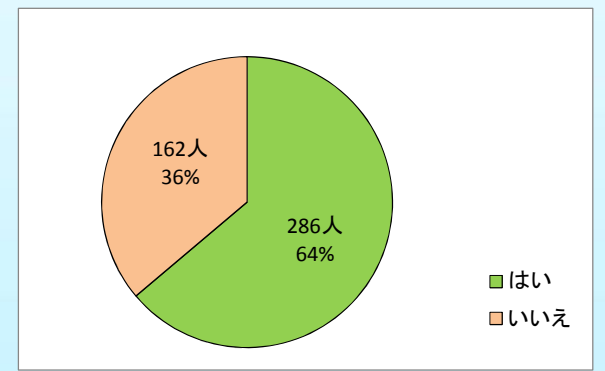
里山再生事業実施後の地域住民の満足度を調査する目的で実施したアンケート調査の結果を報告します。

1 調査の概要

- (1) 調査対象
平成27年度に里山再生事業で整備した里山の周辺地区住民(723世帯)
- (2) 回答数
448人(世帯)(回答率:62.0%)
- (3) 調査時期
平成29年1月~2月

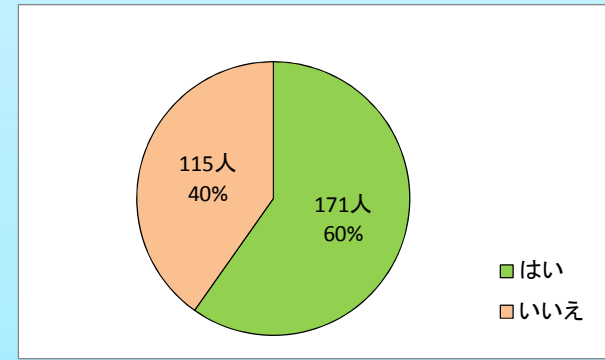
2 調査項目及び調査結果

問1 地域の里山が整備されたことを知っていますか



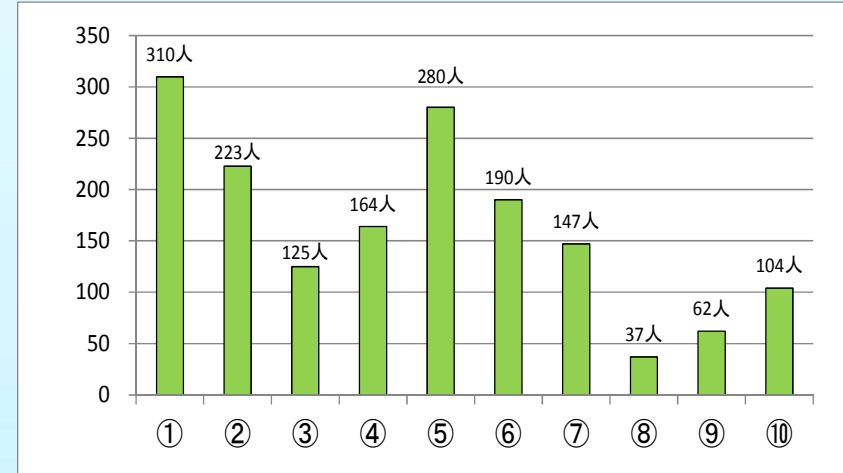
・6割の人が整備されていたことを知っていました。

問2 問1で「はい」を選択した場合、整備に森林環境税が活用されていることを知っていますか。



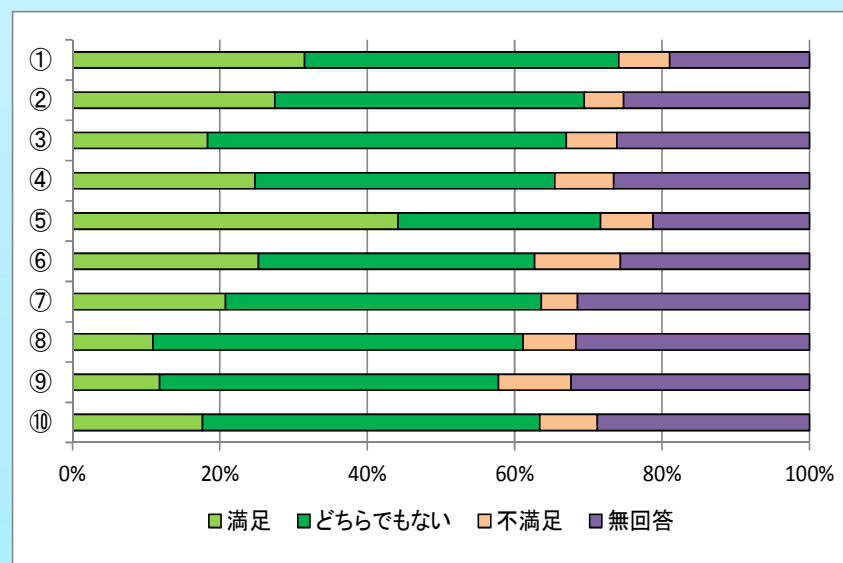
・整備されたことを知っている人のうち、6割の人が森林環境税により整備されたことを知っていました。

問3 里山にどのような役割を期待しますか。



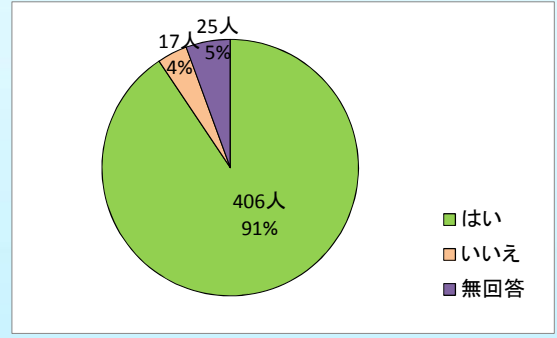
・里山の役割として、「土砂流出、崩壊の防止」を期待する意見が一番多く、次に「森林景観の形成」、「水源涵養、水質浄化」が続きます。

問4 今回、実施した里山の整備の満足度を役割ごとにお答えください。



・満足度では、「森林景観の形成」が一番多く、次に「土砂流出、崩壊の防止」、「水源涵養、水質浄化」、「緩衝緑地、避難空間、鳥獣被害の抑制」が続きます。

問5 今後も里山の整備は必要と思いますか。



・9割の方が引き続き整備の要望をしていました。

- ※問3, 4の質問項目
- ①土砂流出、崩壊の防止
 - ②水源涵養、水質浄化
 - ③木材資源の生産
 - ④貴重な動植物の生息、生育の場
 - ⑤森林景観の形成
 - ⑥緩衝緑地、避難空間、鳥獣被害の抑制
 - ⑦大気の浄化、気候の緩和
 - ⑧文化継承の場
 - ⑨レクリエーションや交流の場
 - ⑩環境学習の場

3 寄せられた意見

- 鳥獣被害に役立つと思うので、今後も進めてもらいたい。
- 山林が生き返り、本来の里山景観が戻ってきた。
- 整備後の景観が素晴らしく、今後も続けて欲しい。
- 事業実施により、死の森林から植物を確認した。里山の整備は全ての生き物にとって大切である。
- 里山を身近に感じるため、このようなアンケートは良いこと。
- 対象地域を拡大し、継続的に実施して欲しい。
- 木材資源を有効に活用したらどうか。
- 里山再生事業について、もっとPRしていくべきである。
- 除去していただいたところから、また竹が発生しているので、竹の除去をお願いしたい。
- 個人山の持ち主の費用負担も考えるべきだと思う。